

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして



# 日造協ニュース

2022.8月  
通巻 第581号

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>  
 〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

本号の主な内容

- 2面 【学会の目・眼・芽】学会を通じた「眞の造園技術」の発信  
 (社)日本造園学会理事 大阪公立大学農学部教授 加我 宏之
- 【実施報告】地域リーダーズ勉強会 北海道で開催  
 2022年度登録造園基幹技能者講習の開催案内
- 3面 令和4、5年度日造協各委員会・部会紹介「総務委員会」「事業委員会」
- 4面 【ふるさと自慢】家族みんなが楽しめる最高の定住地「羽咋市柴垣町」  
 石川県支部 後藤 慧(株)疋田造園  
 【緑滴】農家になろう!  
 栃木県支部 増田 朋絵(株)疋田造園

お陰様で（一社）日本造園建設業協会は2021年11月に創立50周年を迎えました。

## 第49回全国造園デザインコンクール 応募要項を発表

全国造園デザインコンクールは、造園のデザインと製図技術の向上を目的に昭和49年にはじまりました。その後、応募課題を拡充するなど、美しい国土と安心・安全で快適な生活環境を実現する多様な造園空間を対象に、デザイン、設計技術、表現手法の向上を図り、次世代を担う青年の造園に対する興味を醸成し、入職促進に寄与することを目的として毎年実施しています。このたび第49回応募要項を日造協ホームページに掲載したほか、全国の高校・大学など教育機関などに配布しました。

第49回全国造園デザインコンクールは、日造協の主催で（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会、全国高等学校造園教育研究協議会と共に、文部科学省、国土交通省、NHK、全国農業高等学校協会、（公社）日本造園学会、（公財）都市緑化機構の後援（申請中）を受けて実施します。

応募は、高校生の部と大学・一般の部の2つで、造園に関する科目履修者や造園に興味を持つ高等学校、大学、大学院、短期大学、専門学校等の生徒・学生及び造園の設計・施工管理などに従事している方を対象に応募を受け付けます。

応募課題は、すべての対象者向けのA「住宅庭園」(個人住宅の庭園)B「街区公園」(街区公園)C「商業施設」(商業施設の屋外空間)D「実習作品」(作庭、駅前・街角などの広場、緑道、校庭緑化、植物を使用したモニュメント・ディスプレイ(生け花、フラワーアレンジメントは除き、高校・大学などの生徒に限る))の4部門と高校生1・2年生を対象としたE「緑化フェア(みどりの広場)プラン」部門で構成しています。

なお、近年のコンクールは各部門とも、デザイン、設計技術、表現手法だ

けでなく、社会情勢の変化などを踏まえた新しいアイデアを取り入れた作品を加点評価することとしています。

応募作品の表彰は、高校生の部で最も指導力の優れた高等学校を対象とする「文部科学大臣賞」(1校)、全作品の中で総合的に最も優れた作品「国土交通大臣賞」(1点)をはじめとする特別賞を全8点選出するほか、高校生の部・大学・一般の部ごとの「入賞」「佳作」について表彰することとしています。

第49回コンクールの応募期間は、令和5年1月4日から1月13日(当日消印有効)までです。

作品の審査は、令和5年1月22日に行われ、2月1日に審査結果を日造協ホームページで発表予定です。なお、表彰式は令和5年2月11日(土祝日)東京グリーンパレスでの開催を予定しています(新型コロナ感染症の拡大防止対策などの影響により、審査・表彰式などに変更の場合があります)。

近年は応募総数が500作品を超えており、コンクールについて、さらにより多くの方々に知っていただくとともに、より多くの作品の応募を期待しています。



第48回全国造園デザインコンクール「緑化フェア(みどりの広場)プラン賞」受賞の田中友太さん(北海道当別高等学校)の作品は、6月25日から7月24日まで開催された第39回全国都市緑化フェア「ガーデンフェスタ北海道2022」会場に日造協北海道支部の協力により作庭した

## 樹林

(一社)日本造園建設業協会理事  
 (株)磐梯園 代表取締役 佐久間 洋



## ふくしまの今 そしてこれから

日本造園建設業協会福島県支部は、日本造園組合連合会福島県支部と共に(一社)福島県造園建設業協会に事務委託をしております。私は、それぞれの支部長と会長を務めておりますが、会員につきましては、現在、県造協には115社、日造協には15社、造園連には55名が加入しております。

さて、「福島県の今」を少しお話しします。あの原発事故から11年が経過し、令和2年9月には福島県復興祈念公園の一部が供用開始となりました(全体約48haの内約2ha)が、全面開園までは、令和3年に開園した石巻市と陸前高田市からは更に時間を要すると感じております。今後、復興祈念公園は、住民の帰還に合わせた時間軸で整備が予定されています。

また、海岸防災林や防災緑地の植栽も進んでおり、平成29年から始まった海岸防災林(メインはクロマツ)の約9万本の植栽についても、今年度でほぼ終了となる予定であります。この防災林の苗木が大木になるには、長い歳月を要しますが「白砂青松」の再びの景に思いを馳せての工事となりました。

しかし、大切なふる里の一部は、まだ傷つけられたままの状態であります。未だ7市町村には帰還困難区域があり、除染作業が続いております。

こんな状況の福島県ですが、国は「福島イノベーション・コスト構想」により、新たな基盤を構築し、産業を回復させるため、南相馬市に「ロボットテストフィールド」を2020年3月に

全面開所いたしました。陸・海・空のフィールドロボットの性能評価や操縦訓練を行うことができる一大開発実証拠点であります。また、ロボット産業に携わる次世代の人材育成にも取り組んでおり、研究棟前の芝生は、もちろん芝刈りロボットが自らの役目を果たしています。

また、福島県においては、SDGsを通じて「持続可能で豊かなふくしま」を実現させるため、この4月に「SDGs推進プラットフォーム」を立ち上げました。やっと堂々たる復興の足音が聞こえてきました。

一方、協会事業についてですが、本部にも協賛をいただいております「一語一絵みどりの文」の募集があります。「庭にはひとつの物語があり、一枚の絵がある」をコンセプトに手紙等を全国から募集しています。今年で17回を数えるまでになり、9,600通余りの思いが届けられました。

東日本大震災やコロナ禍の今、皆さんの暮らしの中で庭や緑に対する価値観が非常に高まってきていると感じます。「新しい生活様式 with green」です。このような文化的事業を実施できるのも、我が業界が、建設業界の中でも、一番一般市民に近い業界であると云えるでしょう。

今後、この市民の力を如何に業界の力に代えていくことができるかが、大きな課題になるのではないかと考えています。

これからも、福島県はこの3団体の組織力を活かしながら、根茎を広げた事業の展開をしてまいります。

## 令和4年度国土交通省大臣表彰

### 日造協3氏受賞 多年造園工事業に精励・業界の発展に寄与

国土交通省は7月11日付で、令和4年度の国土交通省大臣表彰受賞者を表彰した。

日造協関係者からは3氏が都市計画事業関係と河川事業関係で「多年造園工事業に精励するとともに関係団体の役員として(地方)業界の発展に寄与した」ことから、国土交通大臣表彰を受賞した。

表彰式は7月11日、東京都千代田区霞が関の国土交通省共用大会議室で行われ、今年度は221人、2団体が表彰された。

#### 〈都市計画事業関係〉

山田 拓広(57歳) 京都府京都市花豊造園(株)代表取締役社長

吉本 忠生(63歳) 和歌山県和歌山市吉本園芸代表取締役

松平 博之(66歳) 石川県金沢市北陸グリーンサービス代表取締役社長



山田 拓広 氏

吉本 忠生 氏

松平 博之 氏

学会の目・眼・芽 第126回

## 学会を通じた「真の造園技術」の発信

(公社)日本造園学会理事 大阪公立大学農学部教授 加我 宏之

学会は、造園に関する学術および技術の進歩をはかり、もって社会の発展に貢献することを目的に、研究発表会及び展覧会の開催、機関誌の刊行等の8つの公益事業を行っています。

◆ 毎年、公開シンポジウム、研究発表会を中心に全国大会を実施しており、2022年度は、6月17～19日に北海道恵庭市及び北海道大学にて、開催しました。

3年ぶりの対面での実施、またオンラインでの併用開催にて、会場には約300名が一堂に会し、オンラインでも

約200名と500名強の参加で盛況のうちに終えることができました。

会場では、研究発表や各イベントの前後で、対面での情報交換が活発に行われ、コロナ禍において、改めて、人と人との触れ合うことの大切さを確認することができました。

◆ 学会は各種事業の運営に際して、公益目的の達成と社会的信用の維持・向上に努めるものとしていることから、学会から発信される情報に関しては、審査の過程を設けています。

中には、研究論文や技術報告集の投

稿に際して、査読審査における厳しい指摘に戸惑われた方も少なくないと思います。

造園に関する調査研究や技術の発展には、先進的で、萌芽的な研究や技術の蓄積が不可欠です。新規性に富み、速報的に情報発信することも重要なことから、必ずしも査読審査を経ることなく、発表できる機会を多数、設けています。

◆ 全国大会では、ポスターセッション、企画展示、また、秋から冬に開催されます各支部大会の研究事例報告が査読審査を経ることなく、造園界の先進的で、萌芽的な報告の場となっています。

また、学会誌ランドスケープ研究では、毎号、連載「社会連携の最前線から」の投稿を募集しています。

2030年を目標とするSDGs、2050年のカーボンニュートラルの実現、緑豊かな都市環境形成において、造園技術に対する期待が高まるとともに、競争社会において受注における他分野との競合が課題となる中で、「真の造園技術」の発信は待った無しの状況にあるとも言えます。

◆ 今般、隔年刊行しております「造園技術報告集」を新規性・速報性を重視し、カラー版の電子媒体で、投稿期間を年3回(2・6・10月)、形式審査を経て学会ホームページに掲載するものとして刷新することにしました。

2022年10月よりその応募が始まります。皆さんの「真の造園技術」の発信の機会として活用していただければ幸いです。

策、隣接する道の駅、スターバックスをはじめとするPark-PFI施設など、様々な面での特徴を見学できた。

### 【まとめ】

今回の勉強会は人数や行動の制限があったものの、参加者の満足度は非常に高いものとなった。今回得たものを各メンバーが地元地域で展開することを期待したい。

コロナの拡大による社会不安が軽減され、全国から地域リーダーズ以外の会員企業も交え、より交流を深められることを祈り、結びの言葉とする。

地域リーダーズ北海道総支部リーダー 廣部 修平

## 【実施報告】地域リーダーズ勉強会 北海道で開催 国立民族共生公園、北海道フェア視察、学会全国大会に参加

6月18日(土)～20日(月)に、地域リーダーズ勉強会を北海道で実施した。新型コロナウイルス感染防止対策として、全国地域リーダーズ(総支部代表者11名)および北海道総支部などの関係者のみでの開催となった。

### ■ 1日目【見学①】

白老町に2020年オープンした「民族共生象徴空間ウポポイ」の見学を行った。

ウポポイは「国立アイヌ民族博物館」「国立民族共生公園」「慰靈施設」からなる施設である。

アイヌの居住地である「コタン」の再現を行った共生公園は、池と湿地帯を中心とし、広々と開かれた北海道の自然を伝える造りとなっていた。

民族博物館での展示閲覧や、共生公園内のアイヌ建築の見学、弓のアクティビティなどを体験した。

の大学に焦点を当て、今後互いにどのようなことを行い、その関係を深めていくかについて議論を行った。



造園学会ミニフォーラムの様子



ウポポイ内 国立アイヌ民族博物館からの展望

### ■ 2日目【造園学会全国大会への参加】

北海道大学農学部にて開催された造園学会全国大会に参加した。

午前中は各種研究発表を聴講し、学術や実務にも活かせる緑化・樹木関連の最新の事例を学習した。

午後からは今後の地域リーダーズ活動に関する会合を行った後、地域リーダーズが企画したミニフォーラム「造園の魅力～産と学の連携の在り方～」を実施した。

古積サブリーダーが司会、荻野淳司氏(日造協技術副委員長)がコーディネーターのもと、松戸総リーダーや中峰勝美氏(女性活躍推進部会)、大学側の参加者として柳井重人氏(千葉大学)や金澤弓子氏(東京農業大学)らが話題提供者として参加し、「産」の施工業界と「学」



今回の出席者集合写真



恵庭市緑化フェア会場の視察(「暮らしを惠む庭」周辺)

## 2022年度 登録造園基幹技能者講習の開催案内

登録造園基幹技能者講習は、日造協と造園連の2団体が登録講習機関として共同で実施するもので、講習を修了した登録造園基幹技能者は、経営事項審査での加点評価、「総合評価落札方式」での評価優遇、元請企業の「優良技能者認定制度」などに活用されています。

### 日程と開催会場

開催地	日程	会場名	定員
群馬	2022年10月13日(木)～14日(金)	群馬県造園建設業会館	50名
大阪	2022年12月1日(木)～2日(金)	大阪科学技術センター	60名
北海道	2023年1月19日(木)～20日(金)	太平洋興発ビル	30名
東京	2023年1月25日(木)～26日(金)	全水道会館	100名

さらに、建設キャリアアップシステムにおいては、能力評価基準の最高位(レベル4)要件の資格として位置づけられています。

2020年度に受講資格要件を見直し、「1級造園施工管理技士」でも受講できるようになりました。

建設工事の品質確保や安全管理などが社会的にも大きな関心が寄せられている中、登録造園基幹技能者への期待はますます高まっていますので、ぜひこの機会に受講をご検討ください。

【受講資格】以下のすべての条件を満たすこと。

- ① 1級造園技能士または1級造園施工管理技士の資格を有すること。
- ② 造園工事業に関し10年以上の実務経験を有すること。
- ③ 職長経験が3年以上※であること。  
(※職長教育修了証の写しを添付)

【申込期間】2022年9月1日～各会場の開催日の2週間前まで(消印有効)

【受講料】41,800円(税込)

※詳しくは日造協のホームページをご覧ください。<http://www.jalc.or.jp/kikanginou/index.html>

### 【助成のご案内】

「登録基幹技能者認定講習」は、「人材開発支援助成金」の対象となっており、中小建設事業主は助成を受けられます。

詳しくは、事業主の所在地を管轄する都道府県労働局、またはハローワークにご確認下さい。

# 令和4、5年度 日造協 各委員会・部会紹介

令和4、5年度の日造協 各委員会・部会を8月号(581号)より数回に分けてご紹介します。表の○委員長・部会長、○副委員長、※理事

## 総務委員会

### 委員長 大嶋 聰

新任の大嶋です。2022年度は第3次財政・運営中期計画・収支計画の最終年度となり、第4次同(5か年)計画の策定がひとつの大きな役割となっていました。また、昨年度迎えた協会設立50周年の記念事業の計画・実施もしっかりと対応してゆきたいと思います。



会員の皆さまが、今迄以上に、当協会に加入して良かったと思える、あるいは新規加入業者が増えるような、時代にマッチした運営、情報収集や発信ができればと思っておりましたので、皆さまの知恵と工夫をご提供頂きますよう、よろしくお願ひ致します。

### 総務委員会

氏名	所属	支部
○大嶋 聰	西武造園(株)	東京
○高瀬 勝彦	高瀬環境緑化(株)	北海道

氏名	所属	支部
○中山 忠	イビデングリーンテック(株)	岐阜
○合間 功	(株)石勝エクステリア	東京
○持田 正樹	(株)もちだ園芸	島根
○森川 昌紀	東洋ランテック(株)	埼玉
○成家 岳	(株)富士植木	東京
※高須賀 盛満	高須賀緑地建設(株)	愛媛
北原 誠	小岩井農牧(株)	岩手
山崎 信幸	(株)長遊園	長野
丸山 晶己	北越農事(株)	新潟
今西 康彰	(株)郡山共同園芸	奈良

岡本 秀一	株山口松樹園	山口
片岡 成文	(株)双葉造園	高知
中村 満義	(有)昭和造園土木	宮崎
森根 清昭	(有)海邦造園	沖縄

### 総務企画部会

氏名	所属	支部
○大嶋 聰	西武造園(株)	東京
合間 功	(株)石勝エクステリア	東京
持田 正樹	(株)もちだ園芸	島根
成家 岳	(株)富士植木	東京
森川 昌紀	東洋ランテック(株)	埼玉

## 財政・運営部会

### 部会長 合間 功

財政・運営部会は、これまで取り組んでまいりました「第3次財政・運営中期計画」



が今年度で最終年度となるため、その検証を踏まえつつ、皆様のご協力を得ながら「第4次財政・運営中期計画」の策定に取り組み、一層の健全な財政運営を図ってまいります。

## 財政・運営部会

氏名	所属	支部
○合間 功	(株)石勝エクステリア	東京
阪上 隆功	(株)清香園	埼玉
佐藤 正幸	藤木園緑化土木(株)	千葉
石渡 浩	箱根植木(株)	東京

氏名	所属	支部
田丸 敬三	東光園緑化(株)	東京
北條 拓	西武造園(株)	東京
藤巻 慎司	藤造園建設(株)	神奈川
山崎 信幸	(株)長遊園	長野

## 財政基盤強化部会

### 部会長 持田 正樹

昨年、会員の皆様に配布及び御購入いただいた日造協の徽章は当部会において企画し



ましたので協会のPRと会員の連帯感を高めるためにご活用ください。今後も様々なアイデアを具体化し会員サービスの向上に努めると共に収益強化と魅力アップのための活動を進めて参ります。

## 財政基盤強化部会

氏名	所属	支部
○持田 正樹	(株)もちだ園芸	島根
四宮 繁	(株)四宮造園	北海道
鈴木 誠司	(株)日比谷アメニス	東京
田丸 敬三	東光園緑化(株)	東京

氏名	所属	支部
上田 誠	(株)植空	滋賀
高須賀 盛満	高須賀緑地建設(株)	愛媛
田舎 裕一	(株)庭建	長崎
下地 浩之	(有)西原農園	沖縄

## 経営環境改善部会

### 部会長 大嶋 聰

建設業や維持管理業務に美意識が重要視される独創の業界、また公園等を舞台に指定



管理事業等のサービス業を展開している我が造園業界ですが、さらなる職能の価値向上、魅力度アップ、ひいては地位向上を目指します。そのために省庁・機関等の調査に対しては、実態を把握して回答策を打ち出します。

## 経営環境改善部会

氏名	所属	支部
○大嶋 聰	西武造園(株)	東京
水庭 博	(株)水庭農園	茨城
鈴木 義人	(株)柳島寿々喜園	東京

氏名	所属	支部
田丸 敬三	東光園緑化(株)	東京
高木 俊之	国土緑工(株)	埼玉
岩井 雅彦	サカタのタネグリーンサービス(株)	神奈川

## 社会保険加入推進部会

### 部会長 森川 昌紀

建設業における社会保険の加入につきましては一定の成果を出すことができましたが、



将来にわたり造園建設業の担い手を確保していくためには、造園技能者の更なる待遇改善が必要です。

今後も標準見積書の活用等による法定福利費や労務費の確保に係る取組が着実に進むよう、国交省からの情報提供と周知を行って参ります。

## 社会保険加入推進部会

氏名	所属	支部
○森川 昌紀	東洋ランテック(株)	埼玉
砂押 一成	(株)砂押園芸	茨城

氏名	所属	支部
高木 俊之	国土緑工(株)	埼玉
佐藤 善一	千葉造園土木(株)	千葉
大嶋 聰	西武造園(株)	東京
大場 淳一	(株)大場造園	東京

## 広報活動部会

### 部会長 成家 岳

広報活動部会では広報紙「日造協ニュース」の発行等、日造協の活動を広報しています。



す。今期は紙面のあり方や各コーナーなどを再度検討し、会員の皆様のご要望に応える情報の提供と協会活動をアピールするよう努めてまいります。広報活動へのご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 広報活動部会

氏名	所属	支部
○成家 岳	(株)富士植木	東京
水庭 博	(株)水庭農園	茨城
田上 貴	(株)大利根造園	埼玉
中村 国雄	(株)東農園	埼玉

氏名	所属	支部
前杉 昌枝	西武造園(株)	東京
矢部 真樹	東武緑地(株)	東京
桑原 宣基	湘南	

ふ  
さ  
と  
自  
慢  
石川県

# 羽 昨 市 柴 垣 町



## 農 家 に な ろ う

(株)増田  
木本  
県支  
部  
增  
田  
造  
園

僕の住んでいる柴垣町は最高だ！海のすぐとなり、毎日夕日を眺めに行ける。僕の住んでいる柴垣町は最高だ！新鮮な海産物がすぐそこに♪

と、歌詞のようなフレーズが浮かんでくる所。そこが石川県羽咋市柴垣町（まち）です。その町に、なぜ僕たち家族が住むようになったかを簡単にお話しします。

◆  
僕の生まれは静岡県沼津市、妻は福井県福井市。僕たちはそれぞれに海外旅行が好きで、若い頃は色々な国を旅していました。

そして僕たちはカナダのバンクーバーの近くの小さな島で出会い、2014年春に永住権を求め、オーロラの見えるアラスカの横、ユーコン準州ホワイトホースに移り住み、念願の永住権を取得しました。

6年の滞在の間に、2人の子供に恵まれ夢を叶えたはずでした。しかし慣れない海外での子育てや、英語で仕事をする事にストレスを感じ、段々と日本が恋

今度の家に引っ越してから20年、父の畠の一部を借りて家庭菜園をやっています。

ジャガイモ、トマト、キュウリなど、形は悪くても、採れたてはおいしく食べられます。たくさんとれた時は友人に配るのも楽しみです。

◆  
10年前、偶然栃木県の農業大学校のポスターを見かけ、「兼業農家ならできるかも…」と思い立ち、1年間、週一回の新規就農コースに通い、農業の基礎を学びました。

志の高い中高年の皆さんとの日々はとても新鮮で刺激的だったのですが、わかったのは「私一人ではとても無理」ということで、甘い考えは打ち碎かれました。

それでも心のどこかで「農業をやりたい」という思いは生き続けています。

◆  
なんと今年、我が家は突然？農家になったのです！

まずは直売所への出荷を目指し、急いで種や苗を買い、夫と妹と私の「農業」がスタートしました。

ジャガイモ、サツマイモ、トウモロコシ、



後藤 慧 またの名は DJKG



柴垣サンデーマーケット



柴垣サンデーマーケット上空から



柴垣海岸と長手島



柴垣海岸と国の重要文化財五重塔等 妙成寺

◆  
しなってきました。

そして何より、自分の子供たちが成長する環境の事を改めて考えた所、自分たちが生まれ育った日本、一度は嫌になり海外に出たからこそ見えた日本の良さに気付きました。

日本の文化は素晴らしい！自分の子供たちにも日本で日本人として育ってほしい、と帰国を決意しました。

◆  
帰国後は、妻の実家のある福井の里山で、2年程田舎暮らしをしていました。手植えで田んぼをしたり、ホタルを見たり、子供たちは裸足で駆け回り、サワガニを捕まえに行ったりと、山の暮らしを楽しんでいました。

ただ一つ、そこは豪雪地帯であり、帰国して2年連続の大雪に太平洋育ちの僕の心は折れました。

そんな頃、2021年4月に富山で柴垣町在住の友人と知り合い、その3ヶ月後の7月に柴垣に立ち寄った所、ここだ！と感じました。

◆  
そして8月に家族で海水浴に来たら、みんな口を揃えて「柴垣いいね！」となりました。

◆  
素敵な大家さんに恵まれ、海から歩いてすぐの家に4月から住み始め、毎日を楽しく過ごしています。

そして今回ご縁があり、疋田造園さんで新しい造園の仕事をさせてもらい、自然の力を感じながら、日々良い汗をかいしております。

僕の故郷自慢まだまだ続きそうです。ありがとうございます。

◆  
後藤 慧 (石川県支部 (株)疋田造園)



カボチャ、ズッキーニ…

毎日見回りをしているのに、水不足でしおれたり、草に覆われてしまったり、病気になったり、次々仕事が増えていきます。

「兼業」ですから、作業は休日と平日の朝、昼休み、夕方で、とても時間が足りませんが、日ごろ事務仕事で座りっぱなしの私にはいい運動で、なにより家族の会話が増え、一石二鳥かわからなくなります。

◆  
そしてついに、6月中旬、初出荷を迎えました。

自分の作った野菜が、知らない人の食卓に並ぶと思うと、毎日の世話にも力が入ります。

今年より来年、来年より再来年と経験を積み重ね、いいものを作り、安定した収益を上げる「農家」になるのが今の目標です。



◆  
商品は弊社オンラインストアからご確認ください！

## 事務局の動き

### [8月]

- 2(火)・広報活動部会
- 3(水)・資格制度企画部会
- 5(金)・第10回緑・公園関係団体協議会
- 8(月)・事業委員会
- ・事業企画部会
- 9(火)・造園・環境緑化産業振興会 事務局会議

### [9月]

- 1(木)・運営会議
- 2(金)・全国事務局連絡会議 WEB形式
- 6(火)・広報活動部会
- 7(水)・環境緑化樹木識別検定資格認定委員会
- 8(木)・技術委員会
- 9(金)・総務企画部会
- 16(金)・造園技術フォーラム部会
- 18(日)・植栽基盤診断士認定試験（学科試験）
- 22(木)・第2回造園施工管理技術検定委員会
- 26(月)・AIPH 総会～9/30
- 28(火)・資格制度委員会
- 29(水)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）

## 委員会等の活動

### ●広報活動部会

7/5 日造協ニュース7～11月号の内容について審議

### ●植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）

7/11 植栽基盤診断士補研修会修了試験の採点と学科試験問題について審議

### ●登録造園基幹技能者講習委員会

7/12 今年度の開催計画と修了試験、更新手続きについて審議

### ●造園フェスティバル推進部会

7/13 開催案内と実施マニュアル、ツールの発注について審議

### ●植栽基盤診断士認定委員会

7/14 植栽基盤診断士補研修会修了試験の合否判定と学科試験問題について審議

### ●技術企画部会

7/21 造園技術フォーラムの開催、施工管理に携わる人材育成研修会の開催、労務単価の向上、URとの意見交換会、技能五輪全国大会等の委員、造園用フルハーネス型墜落制止用器具の普及等を審議

### ●若年者ものづくり競技大会

7/27 若年者の就業促進、裾野拡大を図るため、開催運営に協力

### ●グリーンインフラ産業展におけるGIPF 実行委員会 第3回会議

7/27 2023年2/1～3開催のグリーンインフラ産業展でのシンポジウム、ブース企画を検討

**訂正とお詫び** 7月号3面「令和4・5年度 委員会・部会等一覧」で、国際委員会「赤嶺大佑」氏は【正】森根清昭氏。資格制度委員会の「仲村弘喜」氏は【正】「赤嶺大佑」氏。【追加】事業委員会地域リーダーズ「入山定治」氏が記載漏れでした。お詫びして訂正いたします。

## 【造園用フルハーネス型墜落制止用器具の販売】

★日造協では、技術委員会安全部会を中心に労働安全衛生規則の改正に伴い造園作業に適したフルハーネス型墜落制止用器具を開発などを進めてきました。

この度、日造協安全部会の群馬庚申園様から「造園用フルハーネス型墜落制止用器具」を会員の皆様へ特別価格で提供とのご案内がありました。

ご希望の方は URL (<http://shop.kousinen.com/>) よりお申し込みください。

**編集後記** 暑い夏季となりましたが、一面の「大臣賞受賞三氏」をお手本に私用・社用・公用に頑張って下さい。

**日造協の会員様には全商品15%OFF!\*** (2022年8月31日まで)

**TEL: 0250-62-3926**

商品は弊社オンラインストアからご確認ください！

<https://www.usui-nouchikusan.com>



**私たちがまごころ企業であり続けます**

うすいのうちくさん  
**有限会社白井農畜産**

Tel: 0959-1944 新潟県阿賀野市金屋765番地

TEL: 0250-62-3926 FAX: 0250-62-1206

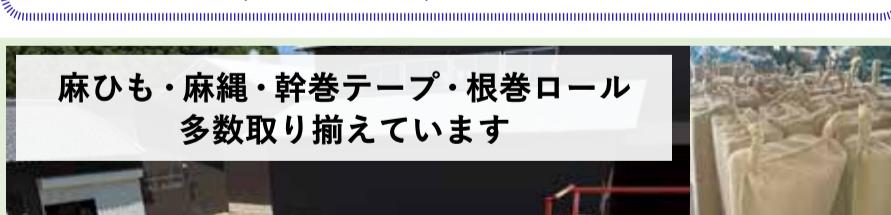
白井農畜産HP

<https://www.usui-niigata.co.jp/>

E-mail: [usui@usui-suibara.co.jp](mailto:usui@usui-suibara.co.jp)

(令和2年度第3次補正事業再構築補助金により作成)

**麻ひも・麻縄・幹巻テープ・根巻ロール**  
多数取り揃えています



**ジュート(黄麻)の产地  
バングラデシュから直輸入**

(令和2年度第3次補正事業再構築補助金により作成)